

☆ 小野運送店だより ☆

めぐみ

第51号（発行日2015年4月1日）
編集発行人 里吉正人
株式会社 小野運送店
〒140-0004
東京都品川区南品川4-2-33
TEL 03-3474-8778 FAX 03-3474-2838
<http://www.ono-unso.co.jp>

北陸新幹線開業！！

2月3月のテレビ報道は『能登、金沢、越中富山』がクローズアップされ富山出身の私としては大変嬉しい思いを致しました。この線は既に40年前に計画されていたのですが、その頃の大物政治家は上州から新潟の上越地方で独占されていて、『上越戦争』という言葉が残っている位なのですが、こと新幹線の敷設に関しては意見が一致し、なぜか上越新幹線が実現し北陸地方は計画線のまま確か新幹線用につくった滋賀県の湖西線も（全部高架です）ローカル線と成り果ててしまいました。

私は越中高岡の隣、福岡というところの出身なのですが実はこの町は加賀の菅笠のブランドで鳴り響いたところです。加賀藩時代から明治にかけて全国の菅笠のほぼ8割以上を独占していて、加賀藩は専売制を設けて財政は豊かであったと町史に記されています。今から100年前の時代ではファッションブランドとして、加賀友禅輪島塗（加賀塗のほうが実は今でも上手です）それ以上に菅笠がもてはやされていたらしい歌舞伎で花魁が出てくる場面がたびたびありますが、必ず付け人の若衆が大振りの笠を携えています。被らず携えるのがよかったのでしょうか。

また娘道成寺の中でも笠踊りが最初の見処ですがこれも菅笠ですおそらく、今の価格で数万でできない小道具であったのでしょうか。しかも、お百姓さんから木枯らし紋次郎まで、ほとんど全員が被っていたのですからブランドに仕立てた旦那方懐の深さはいかばかりだったのでしょうか？文化、美術では相当奥の深い土地柄で、あの地方は今でも骨董美術がどこからか出てくるところです。

「何でも鑑定団」で1億以上の値がでる品がたびたびあの地方のシリーズをやると出てきます。ご存知の方もいると思いますが「アンディウォーホール」のマリリンモンローの絵は有名ですが、彼の駆け出しの頃に下宿さきから黒のエリザベステラーをもらった収集家がおられます。確か10年ほど前ですが鑑定団で相当の評価だったように思います。これを学生時代の友達に声をかけて見せてもらいにいこうかと言ったところ、同学年を超えてみんな行きたいと返事があり、はたして実現するか収集が付かぬか焦っています。

10月中旬、豆名月と旧重陽の節句をかね、舞楽の催しを個人で開催される方もおられます。若い時代の友と一緒に観に行けると楽しいだろうと思いますが新幹線に伴い、是非、東の廓と兼六園に限らず、いろいろなところを探訪できる機会と知識が増えると嬉しいですね！



総務部 上野秀夫